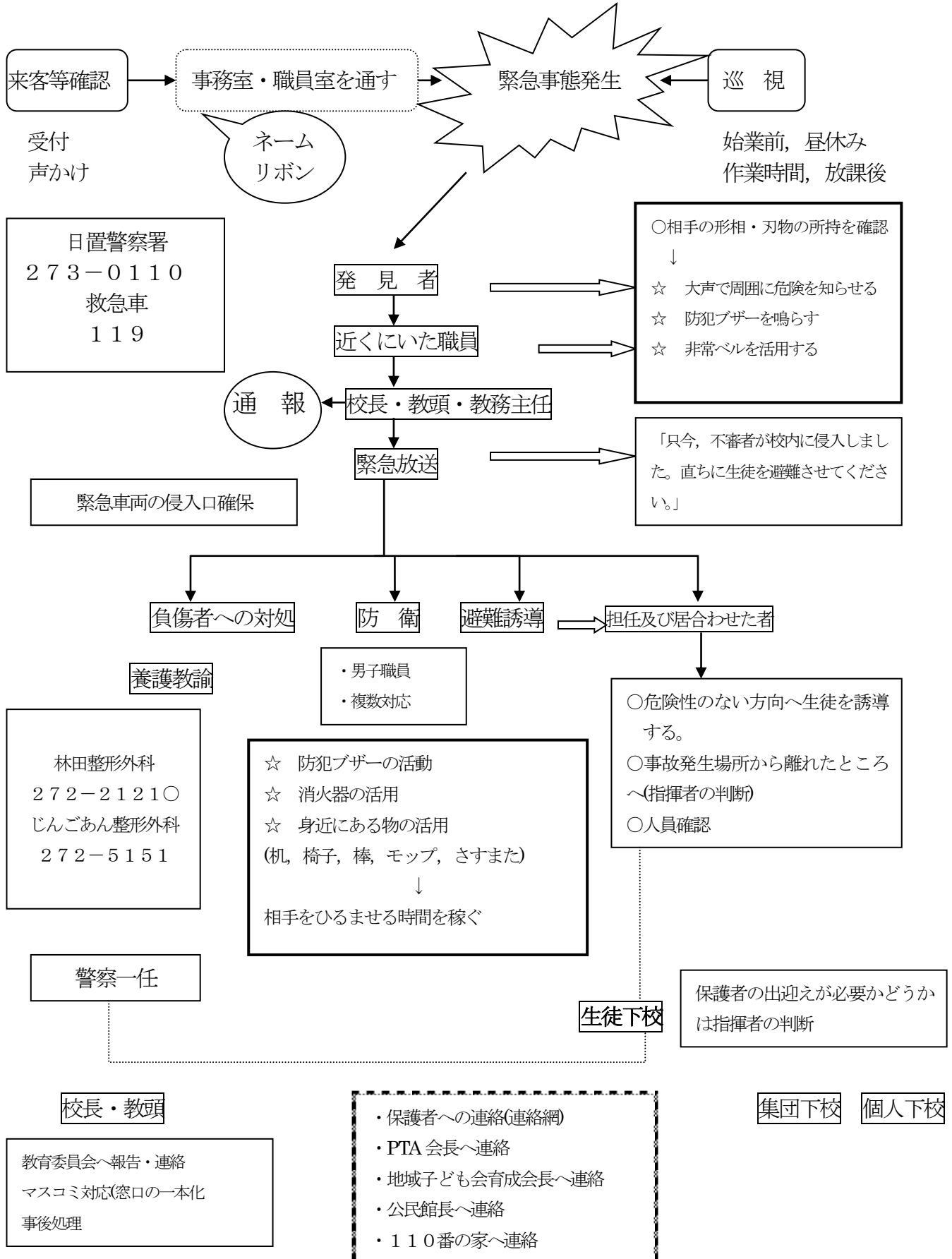


生徒が危険な状況に遭遇したときの具体的な安全確保と教職員の対応



1 不審者を校内で発見した場合

- (1) 発見者は直ちに近くの職員・子生徒に知らせ、校長・教頭に連絡する。
- (2) 必ず2人以上で不審者の確認をする。
 - ① 1人は、防御棒を準備し(電話をかけられる状態で)待機する。
 - ② 1人は、警笛を鳴らし、ある程度距離をおいて、丁寧な言い方で尋ねる。
- (3) 相手が応答し目的がわかったら、現在の学校のおかれている状態を理解してもらう。
 - ※ 用件が終了するまでは、目を離さずに確認する。
- (4) 相手が攻撃的な様子を見せたり、逃げたりしたら、直ちに警笛を吹き、不審者の位置を大声で知らせる。
- (5) 警笛が鳴ったらもう1人は防御用棒を持って相手と対峙する。教室へ入れない。警笛を聞いた担任以外の職員は職員室に駆けつけ校長・教頭の指示を受け、交番に連絡したり、緊急放送をしたり、防御棒を持ち不審者に対峙したりする。
- (6) 警笛が聞こえたら各担任は授業を中断し警笛を準備し、不審者の位置を確認する。
 - ① i) 3年生教室は入り口と窓を閉め、施錠する。生徒は校庭入り口に近い位置で待機する。担任は入り口で侵入者の動きを監視する。
 - ii) 2年生は入り口と窓を閉め、施錠する。児童は廊下側入り口に近い位置で待機する。担任は入り口で侵入者の動きを監視する。
 - iii) 1年生教室は入り口と窓を閉めて、施錠する。生徒は廊下側入り口に近い位置で待機する。担任は入り口で侵入者の動きを監視する。
- ② 侵入者が教室の中に侵入しようとしてきたら、担任は直ちに警笛を鳴らしながら生徒と侵入者の間に入り、机、椅子、モップ、さすまた等を使って侵入者と対峙し、生徒を安全な場所へ避難させる。
 - ※ 消火器の有効利用

2 不審者が教室や体育館に乱入してきた場合

- (1) 乱入された職員は直ちに警笛を鳴らしながら机、椅子、モップ、さすまた等を持って侵入者に対応し、生徒を避難させる。(生徒だけの場合は、警笛・大声を出して避難)
- (2) 警笛を聞いた職員は、警笛の階を確認するとともに生徒に避難準備をさせる。
- (3) 隣接する教室の担任は避難する経路を指示して生徒を避難させ、侵入者に対峙する。
- (4) 警笛を聞いた教頭(校長)は、警笛、防御用棒をもって現場に急行する。
- (5) 担任以外の職員は校長・教頭の指示を受け、警察に緊急連絡したり、また学校周辺にも聞こえるように緊急放送をしたりする。
 - ※ 各教室等に1個、防犯ブザーを常備する。(黒板横)
 - ※ 全職員、朝出勤したら首から警笛をかけ、退庁時まで過ごす。